

渇き

祭りの終わりの大いなる日に、
イエスは立って叫んで言われた、
「だれでも渇く者は、わたしに来て飲むがよい。
(ヨハネ 7:38)

わたしの中へと信じる者は、
聖書が言っているように、その人の最も内なる所から、
生ける水の川々が流れ出る」
(ヨハネ 7:39)

祭りは聖書では楽しい日であり、人生の楽しい時を象徴しています。この祭りは、さらに人が学業において、事業において、家庭において、また人生のあらゆる事で、成功を収める時の喜びと享受を象徴しています。

祭りの終わりの日とは、人生の楽しみの終わりを象徴しています。人生の楽しみが何であろうと、どれほど多かろうとも、それには一つの終点があり、やがて終わりの一日が来ます。どんなことにも終わりの日があります。

祭りは暫時的な満足と享受をもたらしますが、終わりの日には「最高潮」と「終わり」の悲しい状況は、尽きることのないむなしさと渇きをもたらします。ですから、主イエスは祭りの終わりの日に叫んで言われました。「だれでも渇く者は、わたしに来て飲むがよい。…わたしの中へと信じる者は、…その人の最も内なる所から、生ける水の川々が流れ出る」

わたしたちは、快適な日々を過ごし、祭りの中にいるかもしれませんが、しかし、終わり日がやって来ます。わたしたちの渇きを解決できるのは主イエスだけです。ただ、主に開いて言う必要があるだけです、「主よ、あなたを信じます。わたしの渇きを、疲れた心を持ってあなたへと行きます。あなたを救い主として受け入れます。」主イエスは、この命の生ける水があなたの中へと入り、あなたの渇きを解決し、あなたを喜ばせ、満足させてくださるでしょう。